



公開人権教育LHRが行われました！

10月7日(水)の公開人権教育LHRには多くの方に御参加いただき有り難うございました。各クラスの人権LHR委員を中心に企画・運営したLHRでしたので、準備等いろいろ大変だったことと思われました。私たち保護者は、子どもたちの内面的な成長を確認できる良い機会となりました。今号では参加された保護者の方々の感想を紹介します。

1年 テーマ 「人権とは何か」～身近な差別について考える～

・子どもたちだけでしっかり進めていて、見ているととても楽しいLHRでした。一方だけの考えではなく、色々な視点でしっかりものごとを捉えていると感じました。参観するかどうか悩んでいたが、来てよかったと感じました。

・委員の生徒さんが今日のためにしっかり考え準備してこられたと感じました。クラスによっていろいろなテーマや進め方があり、活発なクラスと大人しいクラスで特色が出ていました。



・人は幸せだったり満たされていれば、他人のことを悪く思ったり言ったりすることも、そうない気がします。一人一人が心を満たすような努力が必要なんだろうなと思って見ました。自分の意見を皆の前でいうことはすごいと思いました。



・SNSについて意見をどんどん出していて、明るいクラスだなと感じた。きっとこのクラスにはいじめ問題は心配いらないことだと思います。自主的に話し合いが出来て良かった。

2年 テーマ 「在日コリアンに対する差別と人権」



・LHR委員の生徒たちが、一生懸命準備されているなと思いました。

・いろんなクラスを回ろうと思っていましたが、授業の流れで、話し合いがどのようになっていくのを知りたくて、ひとつのクラスに最初から最後まで参観にさせていただきます。

事前にクラスの委員さんが、授業の準備をされていると聞き、それは、ぜひ、参観してみたいと思いました。班に分かれての討議や、各班で出た意見をまとめた発表は、いろいろな意見が聞けて、高校生がどんなことを考えているのか知れて良かったです。

もうすぐ、韓国研修に行きますが、行く前にこのような勉強ができて、良かったです。保護者も、ロングホームルームに参加することで、日常では、じっくりと考える事がない内容を考えられて充実した内容となりました。来年も是非参加しようと思います。

・サッカーのJリーグで実際に起きた差別事件のことから、身近にあるいやだなと思った出来事をだしてもらったり、またJリーグのことに戻ったり…といろいろな考えさせられる内容だったと思います。

・2年生は韓国研修を控えて、「在日コリアンに対する差別と人権について」話し合いがありました。もし知り合いから在日コリアンと打ち明けられた場合、どのような対応をするのかということグループで話し合い、また韓国に対するイメージなども出し合っていました。

グループディスカッションでは自分の言葉で意見を言い合っている姿が見られました。また、今までの中学までの人権学習と違い事前学習や準備、進行などを生徒が進めていくことでより関心が持てたのだと思います。

今回のテーマは周りに在日コリアンの方があまりいないので、この問題を身近に感じていないのではないかと感じましたが、これを部落差別やそのほかの身近にある差別をなど考えるきっかけとなればと思いました。司会の生徒さんが一生懸命に進行している姿が良かったです。



3年 テーマ 「結婚差別と人権問題」



・真剣に話し合う姿が参観できてよかったです。小・中・高で学んだことが、今日のLHRの中にもつながってきますね。

・結婚差別というより、ひとつの出来事をじぶんならどう考えるかを追求する時間だったように感じました。人権学習は何のためにするのかという問いに、生徒さんが一生懸命考えて語っておられましたが、保護者自身も考えることが大事だと思っし、親子で話し合ってみると、また自分自身の心が広がると思いました。

・各クラスでLHR委員が話し合う議題や内容、進行方法等工夫して、人権教育LHRを進行していてとても感心しました。1年の時はなかなか自分の意見を言ったり、話し合いができなかったりでしたが、3年になるとグループの中でも自分の意見を言ったり、相手の意見を聞いたりと話し合いができてくるのだなと成長を感じました。

・子どもたちが活発に意見をかわしている姿を見て、幼いころから人権について学んできた成果ができてると感じました。ありがたいです。これから社会に出て、様々な問題にあたっていくと思いますが、自分の意見をしっかりと言える人間になってほしいと思います。



今年は参加者が増えて（昨年参観者の1.6倍）、非常に活気のある有意義な時間となりました。子どもともに学び、成長していく保護者でありたいものです。

